

開講計画 全5回／各90分

回	日付	曜日	10:50~12:20
1	10/1	火	発達障害から神経発達症群へ
2	10/15	火	自閉スペクトラム症の理解と対応
3	10/29	火	注意欠如多動症と限局性学習症の理解と対応
4	11/12	火	他の紛らわしいもの
5	11/26	火	ギフテッド(異才)とその重複

受講料 8,500円

定員 20名

発達障害(神経発達症群)とギフテッド(異才)の鑑別と理解

発達障害という概念と用語は、学術的には神経発達症群という用語に変わりました。また、概念(理解の仕方)も対応の仕方でも少し変わってきました。特に過剰診断という問題も重要な注意事項です。実際のところ、他の障害や精神疾患と併存することも少なくありません。また、疑似発達障害という用語も一部の医師や研究者に使われていますが、従来の発達障害にしても、症状ないし特徴が非常に紛らわしくて鑑別が難しいものもあります。感覚過敏や睡眠障害等も注意しないといけないものです。また、近年ではギフテッド(異才)といって、何か並外れて優れた能力あるいはその素質(可能性)をもった子供も、しばしば学校適応・対人関係等で問題を抱えている場合も少なくないことが知られるようになってきました。なかなか複雑ですが、一緒に理解を深めてみましょう。

講師

本学名誉教授
みやかわじゅうじ
宮川 充司

受講上の注意、受講日に持参するもの等

特にありません。